

2025_0110 「午後3時のオーロラ (写真)」 日々の理科 3809号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

北極圏のスウェーデン・ヨックモック郡も、間もなく極夜の時期を脱します。いくら極夜といっても、正午前後は付近が明るくなり、太陽こそ昇りませんが懐中電灯無しでも外を歩けます。オーロラも24時間見られるわけではなく、午前8時頃から午後4時頃までは見られることは稀です。

ところが今シーズンは太陽活動が非常に活発なので、この時間帯でもオーロラを観測しています。先日も午後3時過ぎに、北側カメラが淡いオーロラをとらえていました。これは過去の観測記録の中でも、非常に稀な現象です。これから徐々に昼の時間が増えていきますが、4月中旬から下旬までオーロラを観測できるので、注意深く観察したいと思っています。

(2025年1月上旬/スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス/東京から遠隔観測)

